

## 今月の御教え

人は十年は長いように思うけど、神にとっては、あちらを向いてこちらを向く時間ほどもない。

……「天地は語る」第十一条……

### 解説

この御理解は、岡山のある熱心な信徒が「信心してもお蔭がない」からと、信心をやめた。すると借金が出来たので「やはり信心している時の方が良かった」と思い直し、再び参拝を始めると、直ぐご都合頂き、借金を全部返すことが出来たので、そのお礼に参った時に教祖様から頂いた御教えであります。

この御信徒にとってはその十年間は紆余曲折、様々な苦労があり「話せば長い話ですが……」と言うことになりました。それが、それに対して、参拝者の将来の行く末を瞬時にお分かりになる教祖様にとっては、この方が再び信心をして助けられた事を喜ばれると共に『もっと早く気づき改まっていれは、より早く御蔭を頂くことが出来たのになあ』との思いから発せられたお言葉ではなかったかと思われれます。

今月はいよいよ今年最後の月であります。振り返って一年間のお礼を申しつつ、又、新しい年を迎えられますよう、共々に信心の稽古に勤しみましよう。